

2015年6月10日

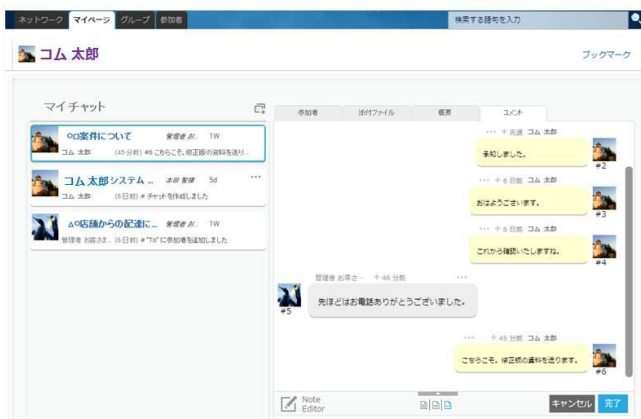
## 効率的なプロジェクトの遂行・管理ができる企業向け SNS 「Biz グループワーク」にマルチデバイス対応のチャット機能を追加 ～管理者による利用者のアカウント管理やログ取得など ビジネスに求められる機能を実現～

NTT コミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、2015年6月10日より、プロジェクトの効率的な管理・進行に活用できる企業向け SNS「Biz グループワーク」にチャット機能を追加します。

これにより、クラウド上の共同作業スペースにおけるコミュニケーションをリアルタイムに行うことができるようになり、さらに効率的で生産的な企業内コミュニケーションの実現に貢献します。

<チャット機能の画面イメージ>

パソコン用ブラウザ画面



モバイルアプリ画面



### 1. 背景

近年、ビジネスにおけるコミュニケーション手段として、従来のメールや電話に加え、企業向け SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などが登場し、市場に浸透しています\*。「Biz グループワーク」も、ビジネスにおけるプロジェクト管理や情報の蓄積・共有を円滑にするコミュニケーション手段として好評をいただいています。

「Biz グループワーク」を提供する中で、お客さまから、同サービスに迅速なコミュニケーション手段が加わればさらにビジネスをスピードアップできるという声を多くいただいたことから、このたびチャット機能を提供します。

チャットサービスはその手軽さ、コミュニケーションの速さから、企業向けではない一般のユーザー向けのコミュニケーション手段として定着していますが、そのままビジネスに利

用することは困難です。

NTT Com は、管理者による利用者のアカウント管理やログ取得などの機能を備えたビジネス向けのサービスとして、チャット機能を提供します。

## 2. 「Bizグループワーク」の概要

クラウド上のワークスペースで、タスク管理やファイル共有のほか、メンバー同士でのコミュニケーションなどが行える多機能な企業向け SNS です。社内だけでなく社外のメンバーとも利用することができ、組織の壁を越えた円滑なプロジェクト遂行を可能にします。

## 3. 「チャット機能」の詳細

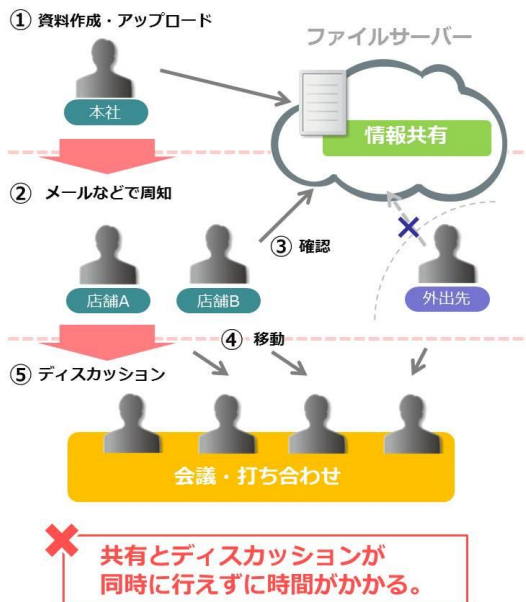
メンバー同士でチャットグループを作ることで、リアルタイムにメッセージやファイルを投稿しあえる機能です。

また、チャット機能は、パソコンでもスマートデバイスでも利用できるため、外出先からのアクセスや複数拠点間での情報共有も迅速に行うことができます。

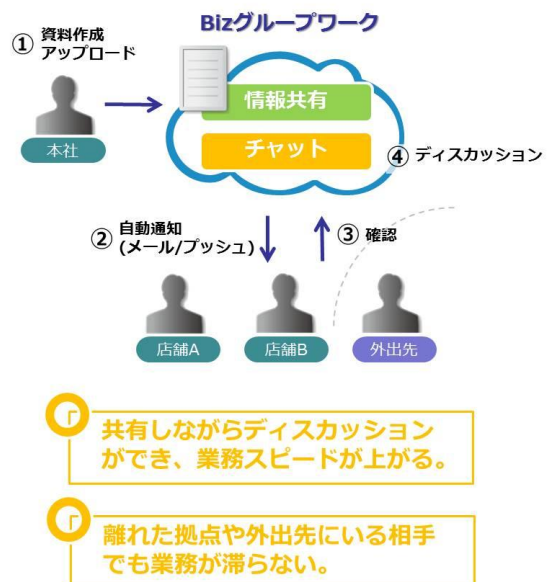
企業向けでない一般のチャットサービスと異なり、管理者が社員のアカウント情報を管理できるほか、各アカウントのログ取得もできるため、不用意なチャットの利用による情報漏洩のリスクなどを抑えることが可能です。

<チャット機能による業務効率化のイメージ>

### ■ メールとファイルサーバーを用いた資料作成フロー



### ■ Bizグループワークを用いた資料作成フロー



## <チャット関連機能一覧>

カテゴリ	機能名	機能概要
基本機能	マイページチャット機能	任意のメンバーとタイムラインを共有し、インスタントメッセージのやりとりができる。
	チャットルームの作成	マイページから任意のメンバーを指定してチャットルームを作成できる。
	チャットルームの編集	チャットメンバーの追加/削除、チャットルーム名の編集ができる。
	プッシュ通知	ブラウザ更新なしで新着チャット数のバッチ表示と新着チャットの読み込みを行う。
	チャットウィジェット	チャット用ウィジェットを提供し、レイアウトタブより任意の位置に配置できる。
	チャットへのファイル添付	チャットにファイルをアップロードできる。
グループチャット	グループチャット機能	グループページでグループメンバー間でのチャットが利用できる。
	グループチャットウィジェット	グループチャット用ウィジェットを提供し、レイアウトタブより任意の位置に配置できる。
	チャットからファイル自動保存	チャット内のファイル(画像含む)をグループのチャットフォルダに自動保存する。
	チャットへファイル引用	チャット内から指定グループにあるファイル(画像含む)を引用することができる。
	チャットへファイル転送	グループ内のファイル(画像含む)を指定のチャットへ転送できる。
管理者	チャット機能 ON/OFF設定	エンドユーザー側システム管理画面におけるON/OFF設定

※モバイルアプリ版では、マイページチャット機能のみご利用いただけます。

## <モバイルアプリ「グループワーク」の動作環境>

iOS 6.0/7.0/8.0 以降

Android 3.0/4.0/5.0 以降

## 4. 提供開始日

2015年6月10日(水)

## 5. 料金

チャット機能、モバイルアプリの利用料金は基本利用料に含まれており、本機能の追加に伴う利用料金の変更はありません。

## <参考>

基本利用料	300円(税込324円)/ID(お申し込みは10ID単位)
機能追加利用料	200円(税込216円)/ID(基本機能と同じID数が必要)
追加分ディスク容量	1,000円(税込1,080円)/10GB

※ 記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

\*: IDC Japan 株式会社 が 2014 年 8 月に発表したレポート「国内コラボレーティブ/コンテンツアプリケーション市場 2013 年の分析と 2014 年～2018 年の予測」によると、2013 年～2018 年の年間平均成長率 (CAGR : Compound Annual Growth Rate) 4.9%で成長し、2018 年の同市場規模は 1,423 億 6,100 万円と予測される。 <http://www.idcjapan.co.jp/Press/Current/20140828Apr.html>